

図画工作科学習指導案

平成 14 年 10 月 30 日（水）

第 3・4 校時

第 3 学年 指導者 名達 英詔

題材名 「ドキドキワクワク探検隊」 ～作品はみんなの宝物～

考 察

児童の実態

本学級の子どもたちの多くは造形作品を見るのが好きである。図工の時間においては、製作途中の友達の作品を見て回り、気に入った技法や表現を見つけ、自分の制作の参考にしたたり、気に入った作品についての感想を話している。学校内に展示されている他学年の作品に興味をひかれ立ち止まって見たり、図工の教科書を広げ参考作品を楽しそうに眺める様子も見られる。子どもたちのつぶやきを聞いてみると、「これはクレヨンをこすったから不思議な色ができただね。」「この部品は丸く並べるときれいだよ。」というように色の出し方や構成から作品の美しさを感じたり、「面白い形だ、雲みたい。」「ここは握ると動くんだよ。」と言ったように、作品の形や動き、表し方の工夫に面白さを感じている様子がうかがえる。

子どもたちの今までの図画工作科の学習をふり返ってみると、1年生のときから鑑賞の授業として友達の作品をじっくり見る経験はあまりなかった。そこで、3年生になってから、参考となる製作途中の作品を随時取上げ、そのよい点を子どもたちに紹介したり、お互いの作品を鑑賞する場面を取り入れてきた。子どもたちにとって、作品を見る視点を知り、そのよさや美しさ、面白さに気づくことは新鮮な経験となり、作品を鑑賞することに対する興味や関心が持てるようになった。

このように、作品の気に入ったところやいろいろな表し方の違い、材料の組合せによる感じ方の違いに関心を持ちながら作品を見られるようになってきた子どもたちではあるが、いまだに仲の良い友達同志お互いの感想をつぶやくことはあっても、その感想をより多くの友達に広めることまではできていない。

題材の考察

今日、子どもたちを取り巻く環境は様々なメディアによる情報であふれている。これからの子どもたちには、そうした情報の中から、潤いのある豊かな生活を営むために必要なものを自分の感覚でとらえ、生活に生かしていくことが求められている。情報の中には、美術館や街角に展示してある美術作品、写真集、本のさし絵や広告等、制作者のメッセージを発信していたり、見るものの心を和ませてくれる造形作品も含まれており、そうした造形作品の形や色、それらの組合せの感じの美しさや、動きの面白さ、表し方の工夫といった作品の良さに対する子どもたちの感覚を高めていくことが大切である。こうした感覚を高めていくために、気に入ったところやいろいろな表し方の違い、材料の組合せによる感じ方の違いに気づきながら関心を持って作品を見られるようになるとともに、作品の見方や感じ方を広げ、様々な視点から作品を見ることができるようになることが必要である。

本題材は友達が作った造形遊びの作品を宝物に見立て、その良さや美しさ、面白さを探す探検隊としてグループを作り、鑑賞探検に出かける。それぞれの見方や感じ方で見つけた作

品の良さや美しさ楽しさを付箋紙^{ふせんし}に書いてグループ用ワークシートの上に出し合い、似ているものや違うもので仲間分けをしたり、その結果を探検発表会としてクラス内で発表し、共通点や違いを考え合ったり見方や感じ方の良さを分かり合い、もう一度気に入った作品を自分なりの見方や感じ方で鑑賞する活動である。

この活動を通して、子どもたちは、お互いの見方や感じ方をより意識しながら分類することができ、自分や友達の見方や感じ方を見つめ直しながら、一人一人の作品の見方や感じ方の幅を広げることができると考えた。

題材の系統性

本題材は2年生の「わたしのしょうかい」「おはなし大すき」「こんなところでならべたよ」「きょうかしょびじゅつかん」における、お互いの作品を見せ合い、そのよさや楽しさ、工夫について話し合う活動を受け、4年生の「こんなものでかいたよ」「光のゲイジュツだ」「きょうかしょびじゅつかん」「ドリームボックス」における、材料の扱いや発想のよさ、表し方の工夫による作品のよさや面白さについて、認め合ったり味わう活動へと発展するものである。

指導方針

鑑賞の対象となる作品は事前に自然物を使って子どもたちが製作した造形遊びの作品を四点用意し、子どもたちの興味関心を生かした選択ができるよう図る。

導入時の説明では、作品のよさや美しさ、面白さをいろいろな見方や感じ方で自分なりに発見する鑑賞探検をすることを知らせ、活動への意欲を高めるとともに目当てがつかみやすくなるよう図る。

ふれる過程では、こどもたちの発見を一つ一つ大切にできるよう、付箋紙によさ、美しさ、面白さについて感じたこと、見つけたこと等一つずつ書き込み、グループ向けのワークシートに貼る事とする。内容や記述の仕方については子どもの表現を尊重し、一人一人の発見が出しやすくなるよう促す。

見つめる過程では、付箋紙に書かれた事柄を、表し方の工夫や材料のあつかい等、子どもたちの気づきを大切に、理由を考えながら仲間分けできるようにすすめる。仲間分けのさいには、一人一人の見方や感じ方がどれも大切であり、お互いに尊重していけるよう促す。また、仲間分けをするために、書いた人の考えを聞いたり、それぞれの意見を出し合うなど、アイデアの交換が活性化するよう支援する。子どもたちの考えをまとめ、発表に向けての理解が進むよう、まとめたものについてどういう仲間としてまとめたかをワークシート上に書き入れるよう導く。

広げる過程では自分たちが見つけた、作品のよさ、美しさ面白さと、その仲間分けの理由を分かりやすく伝えられるよう、作品を指し示したり、グループ用ワークシートを見やすくしたり等、発表の工夫ができるようアドバイスを行う。発表を聞く子どもたちには、作品画像の添付された個人向けのワークシートを配布し、発表のメモをとりやすくすると共に発表内容が思い出しやすくなるよう図る。

作品を見直す場面では、より意欲的に作品を見られるよう、鑑賞する作品を自分で選べるようにしたり、作品と共にグループ用ワークシートを掲示し、鑑賞の参考としたりする。子どもたちが発見した、作品のよさ、美しさ、面白さを積極的に認め、鑑賞することの楽しさを味わえるよう図る。

子どもたちの実態に合わせ、必要に応じて個別に助言等行う。

目 標 (報告書参照)

評価規準 (報告書参照)

指導と評価の計画 (報告書参照)

本時の学習

1 ねらい

友達が作った造形遊びの作品を鑑賞し、お互いに出し合った作品のよさ、美しさ、面白さを交換し、様々な見方や感じ方があることを知ると共に、多様な見方や感じ方を意識しながら作品を見直すことにより、子どもたちの見方や感じ方の幅を広げる。

2 準 備

鑑賞用作品 グループ用ワークシート 個人用ワークシート 筆記具 付箋紙

3 展開

過 時 程 間	主 な 学 習 活 動	支 援 と 指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 及 び 評 価 方 法		評 価 方 法
			造 形 へ の 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	鑑 賞 の 能 力	
15 分 ふ れ る	友達の作った造形遊びの作品を宝物に見立てて鑑賞する。 作品探検隊としてグループに分かれて鑑賞探検し、自分が感じたり見つけたよさ、美しさ、面白さを付箋紙に書いて、ワークシート上に貼り出す。	・鑑賞の対象となる作品は事前に自然物を使って子どもたちが製作した造形遊びの作品を使う。 ・等質グループとなるようグループ作りの際には配慮する。 ・作品は1グループに1つとする。 ・付箋紙にはそれぞれが感じたり見つけたよさ、美しさ、面白さを1つずつ書き込み、グループ向けのワークシートに貼るよう図示する。 ・今回は作品のよさや美しさ、面白さをいろいろな見方や感じ方で自分なりに発見する鑑	作品に関心を持ち、そのよさや、美しさ、面白さを探そうとしている。 十分満足な状況とするキーワード ・意欲的に ・造形要素と関連させて ・課題意識を持つて ・自分の見方や感じ方を大切にしながら ・多様な見方、感じ方で 努力を要する児童への手だて 個別に声をかけ、作品のよさを感じると思われる点を示し、興味を持たせるきっかけを作る。	作品のよさや美しさ、面白さを自分なりの見方や感じ方で付箋紙に書くことができる。 十分満足な状況とするキーワード ・理由を考えながら ・造形要素と関連させて ・表現を工夫しながら ・多様な見方、感じ方で 努力を要する児童への手だて ・個別に声をかけ、関心を持った点や、作品の好きな所、気になるところ等を会話をしながら聞きとり、その内容を書けば良いこ	・作品を鑑賞している様子やつぶやきを観察することで読みとる。 ・付箋紙に書かれた内容から分析する。

		賞探検をすることを知らせる。 ・付箋紙は貼り替えのできるものを使う。		とを知らせる。		
見 つ め る	20分	貼りだした付箋紙の内容をグループの友達と考えながら似ているもの同士で仲間分けをし、多様な見方や感じ方を知る。	・同じワークシートの上で付箋紙を貼り替えながらまとめていく。 ・共通なものがない考え方はそのまま一つのまとまりとして扱うよう助言する。 ・グループの友達同士、付箋紙に書かれた内容についてよく話し合いながらまとめていくよう促す。 ・まとめるための視点等、必要に応じて助言する。 ・一人一人の見方や感じ方がどれも大切であり、お互いに尊重して話そう話す。 ・子どもたちの考えをまとめ、発表に向けての理解が進むよう、まとめたものについてどういう仲間としてまとめたかをワークシート上に書き入れさせる。 ・グループ向けのワークシートと実際の作品を使って発表するよう図る。	出し合った付箋紙の内容を、友達の意見や感じ方を尊重しながら考え、進んで仲間分けしようとする。 十分満足な状況とするキーワード ・理由を考えながら ・より深く考え ・課題と関連づけながら ・良さを認めながら ・意見や感じ方の理由を理解し 努力を要する児童への手だて ・仲間分けしやすい内容の付箋紙を数枚指定し、分けよう促す。	出し合った意見や感じたことの共通点や違いを考えながら仲間分けをし、多様な見方や感じ方をまとめ、知ることができる。 十分満足な状況とするキーワード ・意見や感じたことを出した友達の意図を考えながら ・作品に見られる造形要素とかかわらせながら 努力を要する児童への手だて ・仲間分けしやすい内容の付箋紙を数枚示し、実際にどこが似ていて、どこが違うかの理由を話しながら仲間分けを教師が示範して見せ、その後、子供と相談しながら共同で仲間分け作業を行い、子供が自ら作業できるようになるまで導く。	・付箋紙を分類する様子やつぶきを観察し、読みとる。 ・友達との意見交換の様子や発言の内容から判断する。 ・ワークシートの記録の内容から分析する。
広 げ る	30分	それぞれのグループでまとめた結果を探検発表会として発表し合う。	・発表前に発表準備の時間をもうける。 ・発表を聞く子どもたちに、作品画像の入った個人向けのワークシート	自分たちの発表に参加しようとしている。 十分満足な状況とするキーワード	仲間分けをした理由等、まとめ方の要点を理解しながら発表することができる。 十分満足な状況とするキーワード	発表のための準備や発表する様子、発言の内容が

		を配布し、発表のメモがとりやすくなると共に後で発表内容が思い出しやすくなるよう図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に ・課題意識を持つて <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が仲間分けをしたところを発表する分担とし、発表の仕方や内容を具体的に伝え、安心感を持ちながら練習し、発表できるよう図る。 <p>他のグループの発表に耳を傾け、大切と思うところをメモしようとしている。</p> <p>十分満足な状況とするキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解を深めながら ・要点を押さえながら ・主体的に <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を見ながら発表を聞くよう促し、発表された内容の理解が進むよう図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形要素と関連させて ・表現を工夫しながら <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間分けをしたときに考えた理由を思い出すよう促し、文章として書かせ、しっかり意識できるように図る。 <p>発表の要点を理解し、自分に必要な情報をメモすることができる。</p> <p>十分満足な状況とするキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の視点から ・理由を考えながら <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の要点はどこかを教師と共に作品を見ながら話し合い、理解を促す。 	<p>ら判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞く態度から見取る。 ・ワークシートの記録の内容から分析する。
15分	気に入った作品のよさや美しさ、面白さについて、多様な見方や感じ方を意識しながら、鑑賞し直し、感想をワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・より意欲的に作品を見られるよう鑑賞する作品を自分で選べるようにする。 ・作品とともにグループ用ワークシートを掲示し、鑑賞の参考とする。 ・子どもたちが考えた表現や見方の工夫を積極的に認めていく。 ・自分の見方や感 	<p>気に入った作品を鑑賞し直し、よさや美しさ、面白さについて感想を書こうとしている。</p> <p>十分満足な状況とするキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に ・課題意識を持つて 	<p>気に入った作品を見つけ、そのよさや美しさ、面白さに視点を当てながら、自分の見方や感じ方をもとに鑑賞し直し、感想を書くことができる。</p> <p>十分満足な状況とするキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その理由を考えながら ・造形要素と関連 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞している様子やつぶやきを観察することで読みとる。 ・ワークシートの記

		<p>じ方をより意識できるよう、感想の理由も書き込んでいくよう助言する。</p>	<p>・多様な見方、感じ方で</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・急ぐことなく作品をじっくりと見るよう促し、気に入った作品が見つけられるようにする。</p> <p>・印象に残った友達の見方や感じ方を参考にしよう助言する。</p>	<p>させ</p> <p>・多様な見方、感じ方で</p> <p>・自分の見方や感じ方を大切にしながら</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・どうしてその作品を選んだのか理由を聞いていくことで、子供が自ら自分なりの見方や感じ方に気づいて行けるよう図る。</p>	<p>録の内容から分析する。</p>
ふりかえる	10分	<p>本時の学習を振り返って、授業の感想を書く。</p>	<p>・グループ用ワークシートや、個人用ワークシートを参考に本時の学習の内容を振り返れるよう促す。</p> <p>本時の学習を振り返り、感想をこうとしている。</p> <p>十分満足な状況とするキーワード</p> <p>・意欲的に</p> <p>・進んで</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・本時の学習に対して感じたことをまず率直に出して良いことを伝え、その感想を手がかりに感想の理由等を見つけだせるよう導く。</p>	<p>本時の活動によって学んだ事柄を感想に書くことが出来る。</p> <p>十分満足な状況とするキーワード</p> <p>・見方や感じ方と関連させながら</p> <p>・活動の意味を考えながら</p> <p>・鑑賞の良さを意識しながら</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・グループ用ワークシートや、個人用ワークシートを参考に本時の学習の内容を振り返り、学んだことを思い出せるよう支援する。</p>	<p>・ワークシートの感想の内容から分析する。</p>

資料 2

たんけんしたら

この作品のよさ、美しさ、おもしろさ
たんけんたいメンバー（ ）



【 題 名 】





ドキドキワクワク たんけんカード

ワーク1 さあ、たんけんだ！

*気に入った宝物のドキドキワクワクを見つけて仲間分けをしよう。

ワーク2 ドキドキワクワクを教えよう

*ドキドキワクワクを友達に教えて、みんなでたんけんしてみよう。
*聞き取ったこと、なるほどと思ったドキドキワクワクをメモしよう。

作 品	メ モ
	
	
	
	

作品はみんなの宝物。
「これいいな。ここきれい。見てみておもしろい！！」
よく見ると ドキドキワクワクが見えてくる 感じてくる。
さあ、君のドキドキワクワクをさがしに行こう。

新里村立北小学校 3年 名前

ワーク3 もう一度たんけんしよう

*きみのドキドキワクワクをもう一度見つけにいこう

今日の図工で・・・

資料 4

観賞用作品



「鳥の巣のクリスマスツリー」



「自然の音楽会」



「4つの世界へようこそ」

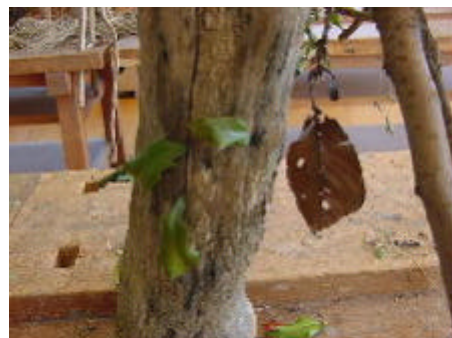


「イガイガパレード 2002」

観賞用作品詳細



「赤い実を葉っぱにのせて」



「木に冬の葉がささったよ！」



「ツルで巻いて立てました」



「カラスウリがポイント」

鑑賞の様子（グループ用ワークシートの利用）

見つめる

付箋紙を貼って



「いろいろ見つけたよ」

仲間わけ



「これとこれは仲間だね」

広げる

発表



「仲間わけした理由は・・・」

見直し



「こうしたほうが面白いんだよ」

見直し



「このカラスウリがね・・・」

見直し



「よさ、美しさ、面白さ」